# 第2 平成28年度事業報告

## 1 第48回(平成28年度)総会概要

日 時: 平成28年6月10日(金) 13時30分~17時15分

場 所: アイリス愛知 4階会議室

出席者: 71大学 97名

欠席者: 16大学

次 第:

(1) 開館の挨拶 名古屋市立大学理事長 郡 健二郎

(2) 新旧会長館挨拶

ア 会長館挨拶 名古屋市立大学総合情報センター長 三澤 哲 也 イ 前会長館挨拶 名桜大学附属図書館長 小川 寿美子

(3) 公立大学協会挨拶

公立大学協会 事務局長 中田 晃

- (4) 講演
  - ・「大学図書館に関する最近の動向等について」 文部科学省 研究振興局参事官(情報担当)付 参事官補佐 玉井 英司
  - ・「公立大学の諸課題と『公立大学改革支援・評価センター』の取り組み」 公立大学協会 事務局長 中田 晃
- (5) 新加盟館、新館長紹介
- (6) 議事 (議長選出)

議長 名古屋市立大学総合情報センター長 三澤 哲也 副議長 愛知県立大学学術研究情報センター長 中島 茂

(7) 報告事項

ア 平成27年度事業報告

前会長館の名桜大学(以下「前会長館」とする)から、会報第47号の4~46頁に基づき、平成27年度事業について報告があった。

イ HP委員会報告

委員長館の大阪市立大学から会報第47号の11~12頁に基づき報告があった。

ウ 地区活動報告・関係委員会等報告

会報第47号12~35頁の関係委員会等報告の記載をもって報告に代え、補足事項や 特に現時点で報告すべき案件がある場合に報告するとの方針が了承された。

### (8) 協議事項

ア 役員の選出について

会長館から総会資料(以下「資料」とする)の3~4頁に基づき各役員について説明があり、原案のとおり承認された。

### イ 関係委員会委員等の推薦について

会長館から資料4~6頁に基づき、平成27年度第2回拡大役員会で報告された委員の うち交代、変更があった委員及び新規派遣委員について説明があり、原案のとおり承認さ れた。

ウ 平成27年度決算報告及び監査報告について

前会長館から資料7頁に基づき決算報告が行われた。また、北九州市立大学から資料8 頁に基づき監査報告があり、ともに承認された。

エ 平成28年度事業計画(案)について

会長館から資料9~11頁に基づき①委員会等活動、②研修活動、③渉外活動、⑤出版について、また、各地区幹事館から④地区活動について、以下のとおり説明があり、承認された。

- ①北海道·東北地区(秋田県立大学)
  - 8月26日(金)に秋田県立大学で地区会議を開催予定。
- ②関東・甲信越地区(埼玉県立大学)
  - 8月26日(金)に埼玉県立大学で地区会議を開催予定。
- ③東海·北陸地区(金沢美術工芸大学)
  - 6月10日(金)総会終了後に当会場別室で地区会議を開催した。
- ④近畿地区(京都市立芸術大学)

地区総会、講演会を平成29年2月に開催予定。

- ⑤中国·四国地区(愛媛県立医療技術大学)
  - 4月22日(金)に地区会議を開催した。
- ⑥九州地区(福岡県立大学)
  - 4月16日(木)に宮崎県で地区会議を開催した。

## オ 平成28年度予算(案)について

会長館から、資料12頁に基づき説明があり、原案のとおり承認された。和歌山県立医科大学より、国公私立大学図書館協力委員会分担金の増額が予定されており、経費が増えることから、今後経費の内容の精査、会費の値上げなどを検討する必要があるのではない

かとの意見があった。

## カ 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について

会長館から資料13頁に基づき説明があり、長期研修は推薦者なし、短期研修は福山市立大学、名古屋市立大学とすることについて説明があり、原案のとおり承認された。

キ 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について 会長館から資料13頁に基づき説明があり、該当者なしと承認された。

### ク 公立大学協会図書館協議会規程類の修正等について

会長館から資料13~14頁に基づき、平成27年度総会で会長館業務の地区内加盟館での分担が承認されたことにともない「会計手続細則」を修正することについて説明があり、原案のとおり承認された。

### ケ 平成29年度会長館業務について

次期会長館から資料14頁に基づき、会長館を滋賀県立大学、会長館業務の補助を京都府立医科大学、総会開催館を和歌山県立医科大学とし、会長館業務を3館で分担することについて説明があり、原案のとおり承認された。

### コ 会長館業務の見直しについて

近畿地区協議会から、会長館業務を軽減するための見直しが議題として提案されていたが、本日の拡大役員会での協議の結果継続審議とすることになったため、報告として資料 1 4 頁に基づき説明があり、引き続き検討することとした。

#### サ 国公私立大学図書館協力委員会に係る分担金の増額について

会長館から資料  $1.4 \sim 1.7$  頁に基づき、平成 2.7 年度第 2 回拡大役員会での承認を受け、分担金を 2.5 万円から 6.0 万円へ増額することについて説明があり、原案のとおり承認された。

### シ 公立大学協会図書館協議会入会大学について

会長館から資料18頁に基づき説明があり、原案のとおり福知山公立大学、山陽小野田 市立山口東京理科大学の入会が承認された。

#### ス 各委員のローテーションについて

会長館から資料18頁、21頁に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

# セ その他

公立はこだて未来大学から、OPAC・ディスカバリーサービスなど図書館システムの開発に各大学が大変な労力をかけているため、そのノウハウを各大学間で連携し情報共有の上、蓄積してはどうかとの意見があった。議長からは重要な問題であるので役員会で提案したいとの回答があり、当協議会で検討していくことが確認された。